



# サロンあべの

もういくつねると・・・  
 来年もいい年を祈って  
 —サロンの食事会—

平成17年12月3日(土)、(サロ ベレッツア)において開催しま  
 ン・あべの)は、「もういくつね した。

と・・・来年もいい年を祈って  
 「サロンの食事会」を地下鉄  
 御堂筋線・長居駅近くのイタリ  
 アレストラン「トラットリア

お店は、歩道に面してオーブ  
 ンテラスのある洒落た店構えで、  
 店内はクリスマスMASの飾り付けが  
 ほどこされ、楽しい雰囲気にな  
 っていました。

素材とソースのからみが素晴ら  
 しかったです。そのあとの肉料  
 理は、仔牛のロースソテーで  
 本当に肉が柔らかく、おいしく  
 いただきました。  
 お料理が進む中、各テーブル  
 では、参加者同士で和やかに自  
 己紹介や各自の近況などが行き  
 交い、にぎやかに会話が弾んで  
 いきました。

## サロンよいところ、 こんなところ

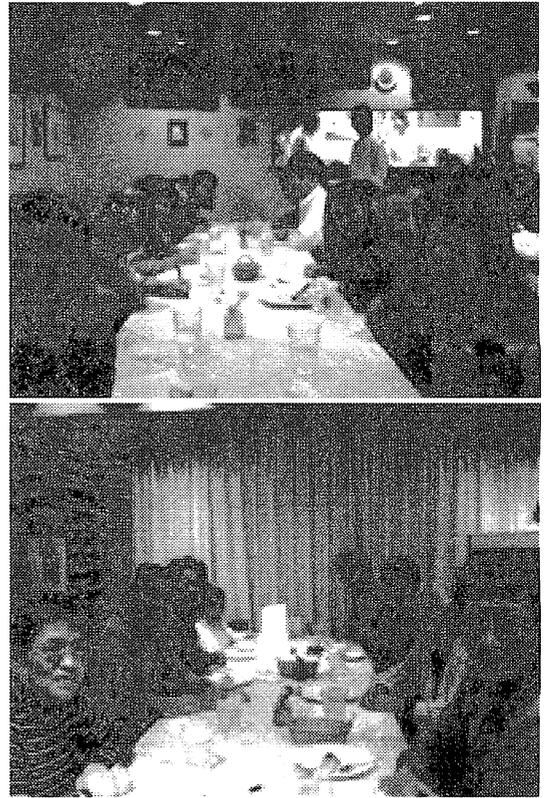
この日のコースは、シェフお  
 まかせの特別メニューです。ま  
 ず、季節の前菜5種盛り合わせ  
 とおかわり自由の自家製パンの  
 フォカッチャが出てきました。  
 次に自慢のパスタは、帆立と水  
 菜のトマトソースのスパゲッ  
 ティーと、ベーコンとブロッコ  
 リーのスパゲッティの2種類  
 があり、みなさんそれぞれお好  
 みのものを選びました。コシの  
 あるパスタはシェフ手作りで、

デザートには、ヒンヤリした  
 口当たりのよい洋梨のクラフ  
 ティー。飲み物は好みで紅茶や  
 コーヒーなどを楽しみました。  
 その合間に、皆さんに引いて  
 いただいた福引き番号のプレゼ  
 ント交換や、「きょうのことやお  
 正月の思い出」(2〜5頁)を書い  
 ていただきました。

師走に入ったこの日は、やはり  
天気が心配でしたが、少し風  
があつたものの良い天気になり  
ました。大勢の方に参加してい  
ただき、皆さんの元気な笑顔を  
見ることができました。

おいしいお料理とお店のス  
タッフの隠し味の心遣いに、お  
腹も心も満足の（サロン・あべ  
の）12月の出会いでした。

（見出し 中西利香・筆）  
（参加者19名 山村貴司）



来年もいい年でありますように。

か？

新垣良子

○ 幸せのひと時を・・・  
静かな場で日頃食していない  
料理に喜びひとしお・・・  
卒寿のよろこび、今一度。  
ゆるぎなき人生の一コマで  
す。

今日、一日を幸多かれと神に  
手を合わす。

○ 宗保（カスターネット）

# きよら亭のこと・お正月のこと

○ サロンの皆様といっしょにイタリア料理を  
いただき、お腹いっぱい。出会いっぱいの  
美味しい一日でした。

伊東裕子

○ 「さろん亭」の植札付けのお手伝いをした

だけ（参加？）なのですが、食事会においし  
く参加させていただきました。空気が暖かい  
です。

来年も「さろん亭」に行きますので、よろ  
しく願います。来年の食事会も、おいし  
く参加、楽しく参加してもよろしいでしょ

初めて、サロンに出会ったのは5年前で  
す。でも、数回しか参加していません。ボラ  
ンティアクラブ・カスターネットとの出会い  
で、参加回数が増えました。

12月の食事会、おいしく楽しく過ごさせて  
いただきました。また、2006年も元気で  
参加させていただきます。

○ 竹下洋子（カスターネット）

○ 昨年、参加出来ずにいた食事会に出席する  
ことが出来、とても光栄です。サロンの例会

## お知らせ

### <サロン・あべの>2月の出会い

日時…2月18日(土)午後1時～4時

内容…サロンよいところ、こんなところ

都会における癒し

～音と香りのハーモニー～

お客さま…竹岡太一さん(「サロン北」代表)

場所…育徳コミュニティーセンター2階

研修室(スロープ・車いすトイレ有)

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

TEL. 06-6621-1901

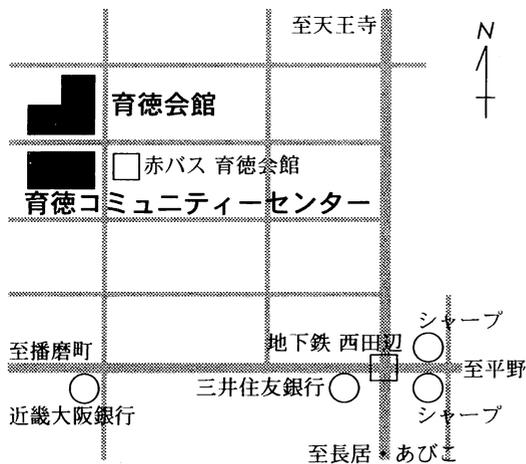
最寄り駅=地下鉄御堂筋線「西田辺」

赤バス「育徳会館」下車すぐ

会費…なし

問い合わせ先…

TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



お正月の思い出といえば、毎年変わらず、暮れの29日に東部の魚市場へお正月用の買い出しに行きます。そして年が変わって、住吉さんに初詣、例年何もかわりばえなく3日が終わってしまい、あつという間のお正月休みです。

食事はいつも「おいしい!」で、満足。他の言葉が思い浮かびません。こんなんでいいのでしょうか。

久木 浩

食べられて良かったです。

では、いつもはテーブル越しに(感想を言つて)遠くに感じていたのですが、今日は身近にいてお話しが出来、とても楽しかったです。料理も美味しかったです。残念なのが、パスタも手作りだったというのを、食べてから聞いたので、もつと味わって食べればよかった・・・と思いました。来年は、よくよく味わって食べたいと思います。やはり、腹ペコはよろしくありません。

たたみたに

長居公園周辺は、いつになく人が多いと思いましたが、セレッソのサッカー試合が開催されたということでした。その人たちの流れに逆らって私たちは、「トラットリア ベレツツア」に行きました。和やかな会話の中、美味しいイタリアンにお腹は満腹、心も満足。恒例の一言アンケートは、「お正月の思い出」。年代とともに思い出もいろいろ、その中でもお年玉とおせち料理は今も昔も変わ

りない楽しみです。1000円札のお年玉をもらって喜んでいた頃がありました。おせち料理は意味を聞きながら口に運び、1年の幸せを祈っていました。

富田慶子

今年はまだサロンに参加出来なくて申しわけない気持ちでいっぱいです。来年は今年よりもたくさん、サロンに参加出来るようにしたいとは思っていますが、今、仕事の方が忙しくなっていますので、出来なかつたらすみません。今日はおいしい料理を

か？

お茶子 藤井さゆり

○ サロンの皆様と出会えて4回！今日は、皆さんの仲間に入れていただき、楽しい食事をいっしょにさせてもらって、仲間としての輪が日を重ねるたびに広がり、親しくなつたように思います。来年もよろしくお願ひします。

藤木妙子（カスタネット）

○ 今日は皆で食事をしまして良かったです。自分好みの酒が飲めなくてざんねんでした。

森田秀文

○ カスタネットクラブとして参加させていた  
 だくのは、まだ数回ですが、毎回新たな発見  
 があり、私にとって、楽しい出会い、やさし  
 さ、ぬくもりのある出会いは、とても新鮮な  
 場であります。久しぶりにイタリアン。とて  
 もおいしくいただきました。次の食事も楽し  
 みにしています。皆さん、これからもよろ  
 しくお願ひ致します。

松村美鈴

○ 2年前の2003年の12月に、このイタ  
 リア料理のお店に来ました。去年は、天王寺

### お正月の味

大晦日は、お正月を迎える準備を済ませ、ゆっくりと紅白歌合戦を楽しむ。明ければ住吉さんに初詣で。毎年同じパターンである。

子供の頃から顔ぶれや人数は変わっても、家族と共に迎えるお正月は1年最大の行事でいつもワクワクとした気分させられる。

実家にいた頃は除夜の鐘を聞きながら、母が用意してくれるお雑煮が楽しみだった。だしのきいたすまし汁に、焼いたお餅と水菜だけのシンプルなお雑煮は、あっさり香ばしくてとても美味しかった。結婚して、主人の家のお雑煮を作るようになったが、懐かしくて最近母の水菜だけのお雑煮も作っている。

また、数年前、伊勢に初詣でに行った時、二見ヶ浦で、参拝者に甘酒がふるまわれていて、厳しい寒さの中で、冷たい波しぶきを浴びる夫婦岩を観ながらいた。あの熱くて甘い味が忘れられなくて、またお正月に行ってみたいと、下戸の主人と話している。

食いしん坊の私のお正月の思い出です。

表谷恵美子

○ ステーションプラザでしたけれど、また同じ  
 ところとするとは、1年365日は早いで  
 す。また、来年年明け（サロン・あべの）に  
 行きます。来年は（サロン・あべの）が出来  
 て20年ですね。

正月は、京都の清水寺から円山公園へ行く

のが思い出でというか楽しみます。

○ 1年間がだんだん早くなってきました  
 が、おいしいイタリアンを食べながら、皆さ  
 んといっしょに過ごせてすごくよかったです。  
 ありがとうございます。

山村貴司

倭 栄司

○ 今年1年の締めとして、出席させていただ

きました。久しぶりに、ゆたつりとした気分  
になれました。

山本篤江

今日のためにお世話をしてくださった方  
々、ありがとうございます。お店は、今回  
で2回目ですが、美味しく楽しいお食事が出  
来ました。来年もよろしくお願いします。

○  
(サロン・あべの)の集いに参加するよう



平成18年の新春を穏やかな中で迎えること  
が出来ましたが、(サロンあべの)に集う皆様  
方も、新たななる抱負や希望を抱いて新年のス  
タートをされた事と思われれます。

になってたくさんの人との出会いがあり、い  
つもとてまたのしく出席させていただいて  
おります。また、今日はおいしいお料理やプ  
レゼントまでいただき、心温まる出会いのひ  
と時が、心をなごませていただきました。本  
当にありがとうございます。来年もよろし  
くお願い致します。

○  
もういくつねると で始まる童謡「お正

昨年、私達が一番憂慮していた障害者自  
立支援法が成立し、今年には施行され、問題点  
や課題となっていた事が、現実として受け止  
めなくてはならなくなった事です。それでも  
障害者福祉が不合理であれば声を絶やさない  
ように、行動をしなくては、と思っています。

こうした思いは、いつしかサロン紙面から  
伝わって来る熱い願いに、心がノックされる  
からです。そうした反面、ほほえましい出  
来事に和む事も数多くあり、腕組みをして  
「うむう」としていた難儀な事から開放され  
ます。そんな後には、不思議と「今、出来る

月」に歌われている、たこあげ、こままわし、  
まりつき、おいはね・・・といった遊びはす  
っかり影をひそめました。けれど、「はやく  
来い来い」と、お正月を心待ちにする気持ちは、  
今も昔と変わりないのでは。

(石)

かく言うわたし、食べることが3度の食事  
より、好きなもので、「はやく来い」と、つ  
ぎの「食事会」を楽しみにしています。

事」に気持ちを集中して、患者仲間や行政の  
窓口で声を掛けていました。

私の今年の抱負は、日本で始めて開催され  
るALS(筋萎縮性側索硬化症)国際会議(医  
学界の会議)に、私たちALSの患者もテー  
マ別に参加が出来るようです。これを機会に  
アジア(台湾、韓国、中国)で、交流できる  
仲間と情報発信して行く、スタート年にした  
いと思っています。国による制度は違っても  
障害から来る生きる事への夢や希望は同じで  
す。「サロンと私」は、こうした夢を創り出す  
「ふれあいの広場」です。

(吉岡克彦)

24



## 邦子、 ・ん歳の手習い。

### 障害者の自立―大阪人権博物館の展示から

大阪市浪速区にある大阪人権博物館リハビリおおさかは、2005年12月にリニューアルしました。この博物館は、「部落問題をはじめとする日本社会の歴史と文化に根ざした人権問題を総合対象として」展示公開している「人権に関する総合博物館」で、大阪を拠点しながら人権尊重のメッセージを発信しています。総合展示の中の「差別を受けている人の主張と活動」というコーナーには、障害者の展示があります。1970年代から現在までの大阪を中心とした障害者の解放と

自立に向けた運動やそれに関わった人達の主張や資料の展示の中に、私はそれぞれの運動の歴史としての重みを感じました。

「1970年代になり、障害者のあるがままの生を認めさせ、健常者を中心とする社会の価値観を変えることを目指した障害者自身による運動」は、神奈川青い芝の会を中心とする「さようならCP」上映運動を通して、関西にも入ってきました。映画「さようなら

CP」は、脳性マヒ者の身体が画面にさらけ出され、脳性マヒ者の視点から健常者や社会を眺めるという映画で、ありのままの障害者の姿や訴えは、関西の若い障害者に感銘を与えていきました。それまで障害を否定的に捉えていた障害者は肯定的に捉えていくようになり、1972年には、青い芝の会の前身であるグループプリボンが結成されました。そして、彼らは「さようならCP」に触発されて、映画「カニは横に歩く」を自ら制作していきました。

「映画『カニは横に歩く』に出る。見せてやる、見せてやる、そういう気持ちでいた。私が出るときっかけの一つでした。仲間づくりの一つとおだてられて出た（澤田隆司さん・重度脳性マヒ障害者、当時27歳）初めて

のバチンコ店に入った。『そよ風のように街に出よう』がみんなの合い言葉だった。出る活動に重ねて8ミリ映画を作ることになった。もちろん金もない。機材もないのナイナイづくしの開始で、カンパを募り、寄付を集めつつ、それら自身を映像化するという奇妙な映画づくりだった。……その模様は関西テレビドキュメンタリーにも転写された（映画

制作責任者・河野秀忠）

映画「カニは横に歩く」は、マスコミに取り上げてもらったこともあり、障害者の結集をもたらし、大阪青い芝の会結成につながっていきました。その後、会は優生保護法改定案反対や養護学校義務化反対運動を展開していきます。「カニは横に歩く」に出演し、大阪青い芝の会創設メンバーで運動を中心に担っていった松井義孝さん（重度脳性マヒ障害者、当時21歳は、「大阪青い芝の会は若いメンバーが多く血気盛んだった。血気盛んな当時だからこそできた闘争だった。」と当時を回想しています）。

松井さんは、青い芝の会の理念の中で「健全者文明を否定する」ということに感銘を受けました。そして、展示の中で、「エレベ

ター、エスカレーターが設置されるようになって、便利になったと言われる。しかし、それは結局一人で出来た方がいいという健全者文明の発想と無関係ではないだろう。すべてがバリアフリーになったから、全部自分でやれといわれても脳性マヒ者には出来ないのである。エレベーターが障害者専用の通り道となってしまうかねないように、健全者文明の行き先は、障害者の隔離となるのではないかと語り、健全者も障害者も共に生きていく共生社会の必要性を示唆しています。

(定藤邦子)

ありがとうございました。

カンパ、大判封筒の寄贈、また、サロングッズのお買い上げなど、ありがとうございました。

伊藤明弘、伊東裕子、今西美奈子、岩本温子、  
 沖村朋子、栗谷清子、黒羽玲子、神城昭子、  
 竹村定子、都丸美都子、長島伊津子、  
 野村嘉寿子、宮崎徹朗、森芳江、山本鈴子、  
 その他の方々。(敬称略)

あけましておめでとうございます  
 本年もどうぞよろしく願います

平成18年(2006年)  
 の新しい年が明けた。  
 みなさんもそうだろう  
 が、私も新たな気分で  
 新春を迎えることがで  
 きた。

「新年の計は元旦にあり」と言われるように私も毎年、その年の目標(抱負)を決めているのだが、今年は何も決めずに健康面だけに気をつけることにした。それと言うのも今年の<sup>うまどし</sup>午年の者は眼病、循環器系疾患、神経衰弱などになりやすいので用心せよ、と言われていたからである。

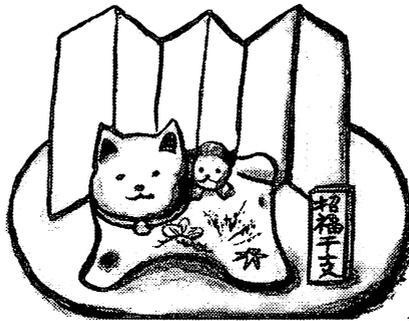
ところで今年の干支は11番目の戌年で

ある。戌年の戌とは、西から北への30度の方角をいい、昔の時刻を表す。現在の時刻で言えば、午後7時から午後9時まで、特に午後8時頃を指す。

## 晴れのち晴れ 88

戌(いぬ)年に思う

稲垣 恵雄



▲

某うらない本によると、今年の戌年の人は正直でまじめなタイプだけに融通のきかない面がある。そして責任感があるので目下の人から信用されるが、自尊心が災いして運気が滞ることがある。更に中年期には最良の運氣となるので活躍が望まれるということであ

る。  
 私は戌年の人を5人ぐらい知っているが、うらない本に書いてあるような性格の人が多。だから良いことは大いに信じて  
 どんどん活躍してもらいたいと思う。

## □ サンタを信じる (上)



クリスマス・イブの少し前の日に、息子たちが通う保育園にサンタクロースがやって来た。そこで子どもたちに「プレゼント」に何が欲しいかと聞くと、子どもたちはテレビ漫

画の主人公たちが使っている武器や衣装について語り始めた。サンタクロースはテレビ漫画には詳しくなかったため、子どもたちが言っていることがまるで理解できなかったそう

うだ。  
そんな状況のなかで、もうすぐ六歳になる私の長男は「サンタのおじさんのそりを引くトナカイの首についた鈴を下さい」と言ったので、保育園の先生たちは「とても感動した」という。私は先生たちがなぜ感動したのか、詳しい理由は聞いていない。

息子がそういう質問をしたのは、一年前に読んだ絵本の物語を覚えていたからだろう。「北極号」という幻想的な絵で構成されたその本は彼のお気に入りだった。主人公の少年は、たしかサンタのトナカイの首についた小さな鈴をプレゼントとして受け取るのである。

一年も前に読み、とっくに図書館に返してしまった本の内容を覚えていたということに

も驚いたが、もっと私が驚いたのは、私の長男が純粹にサンタクロースの存在を信じていることだった。ほとんど一点の疑いもなく信じているのである。

私にはどうも、それが理解できない。鍵が閉まった家にどうやって入るのか、無数にある子どもたちの家に、どうやってプレゼントを一夜にして配るのか、よく考えてみれば、そんなことはできるはずがないということ、いくら子どもでもわかりそうではないか。

実は、私自身が長男と同じ六歳だったころ、サンタクロースは私の幼稚園にもやってきた。そのとき、私は二百人ぐらいいた幼稚園児の代表として、サンタクロースに質問をすることになったのである。

ただ一人選ばれたことに私は得意だったし、だからこそ「良い質問」をしようと考えた。しかし、六歳の私が最初に思いついたのは「おっちゃん、サンタの服まで着て、なんぼもろたんや（いくらももらったの）？」という、およそ人を小馬鹿にしたような質問であった。私はサンタの存在などまるで信じて

いなかったのである。

私は、この質問はウケルと思った(私は人を笑わせるのが好きな子どもだった)。しかし、サンタを信じている子どもにはショックを与えてしまうだろうし、先生たちも不愉快になるだろう。「サンタ」も怒り出すかもしれないと思った。

しかし、まさか「サンタのおじさんは、みんなのプレゼントをどうやって選ぶのですか」などと、あたかもサンタを信じているかのような質問もできないと思った。「僕はちゃんと知っている」というプライドがあつたし、自分を偽るのも嫌だったのである。

私は、そこで、それこそ生まれて初めての板ばさみ状態を体験しようと思う。幼稚な質問はしたくない、しかし、そうしなければ子どもの代表として受けている周囲の期待を裏切ることになる。母にはそんな悩みを話したが、幼稚園では誰にも話せなかった。先生も友達もわかつてはくれないだろうと思っていた。

結局、悩みに悩んだ末、私がとつた行動は・・・

(続きは次号)(知)

## 声で読書のお手伝い

### 音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で(サロン・あべの)紙第234号の音訳テープが出来ました。

#### ■音訳テープ文庫

- |  |   |
|--|---|
| (a) (サロン・あべの)紙は、第1号より第234号までそろっています。                   | (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修=大阪市立天王寺図書館制作)        |
| (b) (サロン・あべの)十周年記念誌「はあとが、はろー!」                         | (l) 「知らされない愛について」(岡知史著=ぼけっと音訳)                    |
| (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)                                | (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)                       |
| (d) 「ラジオたんぱ」放送「(サロン・あべの)平成7年5月の出会い」放送分(30分)            | (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳DJ)              |
| (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著=糸でんわ音訳)          | (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著=糸でんわ音訳DJ)        |
| (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著=糸でんわ音訳) | (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)                      |
| (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著=糸でんわ音訳DJ)                         | (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著=糸でんわ音訳)                   |
| (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一著=糸でんわ音訳)                          | (r) 「勁くしずかに」(河野勝行編・著=糸でんわ音訳)                      |
| (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著=糸でんわ音訳)                      | (s) 「たまごが ポン!」(稲垣恵雄著=糸でんわ音訳DJ)                    |
| (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著=糸でんわ音訳DJ)                        | (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博=糸でんわ音訳)                     |
|  | (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著=糸でんわ音訳) |
|  | (v) 富田慶子出演の「ちょっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ   |
- ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。音訳の後の※印はディジー録音。

赤松 昭

「谷間」に  
「ごだわり」続けて

20

―若者と家族の会の歩み(その1)―

今回からはしばらく「頭部外傷や病気による後遺症を持つ若者と家族の会」(以下、若者と家族の会)の歩みを紹介していきたいと思えます。

バブル盛んな頃、保険会社が数億円から数十億円する絵画を買い漁った時期がありました。その様子をニュースで視た入院中の頭部外傷者の家族が主治医にこうつぶやいたそうです。「あんな高い絵を買うお金があったら、せめてその百分の一でもいいから、頭部外傷

の患者に還元してくれたらいいのに」。それを聞いた主治医(Y医師)はその言葉に納得したものの、治療以外に何にも出来ない自分に歯がゆさを感じていました。「どうかして、この問題を社会に訴えていこう!」。Y医師がそう思ったのが、若者と家族の会の始まりだったのです。

1980年代半ば以降、国は社会的入院解消のため入院期間の短縮化に乗り出します。しかし、高齢者には社会資源の整備が進められていたものの、若年者には退院後の受け皿が用意されなかったため、行き場を失った脳損傷患者が途方にくれるケースが続出しました。ちょうどその頃、大阪府下の病院に勤務していたY医師は、患者家族のそうした状況を目の当たりにして、脳損傷後遺障害者への支援の必要性を感じます。そこでY医師はこの状況に異議を唱える者の裾野を広げるため、当事者組織の設立を目指しました。そうしてY医師の呼びかけで、院内で患者と家族が集まるようになったのです。

その後、この院内の集まりは定期的な話し合いを重ね、開かれた会にすることで意見が

まとまります。そうして、1995年9月、「頭部外傷や病気による後遺症を持つ若者と家族の会」の結成会が大阪高槻で開かれたのでした。出席者150名あまり。脳損傷当事者とその家族が社会から孤立することなく、お互いの情報交換や相談できる関係を作ることが目的に設立を宣言。その反響は大きく、会の設立がマスコミで紹介されると、代表者の家の電話が絶え間なく鳴り続けました。「まだ意識も回復していないのに退院を強要されている」「テレビで紹介された先生のいる病院に転院したい」「相談に行った福祉事務所の対応が悪い。何とかしてくれ」。電話の中には会の趣旨を取り違えたものまでありましたが、それでも脳損傷という事態をめぐって、困難に直面している当事者とその家族がいかに多いかを示すものでした(続く)。



# 美智子のこんな話

岸田美智子

講師 井上泰司氏

内容 障害者自立支援法で障害者の生活は

ち寄りください。当事者スタッフが分かりやすくご説明します。

どうなるか？

◎障害者「すみよし」

公開セミナーのご案内

案内

参加費 無料

手話等 手話・点字・拡大資料等必要な方は事前に連絡ください。

前に連絡ください。

\*呼びかけ団体

社会福祉法人熱と光街づくりNPO法人あと

ち倶楽部・社会福祉法人ライフサポート協会・

社会福祉法人野菊の会・社会福祉法人ひよこ・

社会福祉法人よさみの福祉会・特定非営利活動

法人いちごの会・社会福祉法人大阪市障害者福

祉・スポーツ協会・社会福祉法人あいえる協会

\*協賛

住吉区保健福祉センター・住吉区社会福祉協

議会

○連絡先

社会福祉法人あいえる協会

自立生活センター・MY・DO〜まいど〜

〒558-0002

大阪市住吉区长居西1-9-12キミハウス1階

TEL 06-6609-3133

FAX 06-6609-3210

Eメール cil-mydo@jasmine.ocn.ne.jp

「まいど」からのお知らせだよ

◎「障害者支援法」って!?

わからないこと相談に来て・・・

障害者自立支援法が国会を通過し、2006年4月から福祉サービスを利用した場合に定率負担(1割)がかかってきます。支払いが難しい方には減額措置がいろいろと用意されていますが、自分から申請しなければ減額されません。

いくら減額されるのか? いくら払えばいいの? どうやって手続きするの? とても

分からないことがたくさんあると思います。そんな人は、ぜひ「まいど」に相談してください。また、「自立生活センター・まいど」では、そんな方を対象に、障害者自立支援法に

ついての相談に応じますので、お気軽にお立

日時 2006年2月22日(水)

午後6時~8時

場所 住吉区文化センター

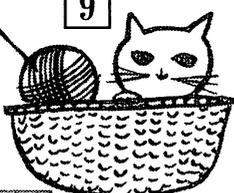
大阪市住吉区帝塚山東5-3-21

電話 06-6674-3731

ひとつずつ  
ひとつだけの世界

——ジャグカバ——

9



池内沙織

手織工房

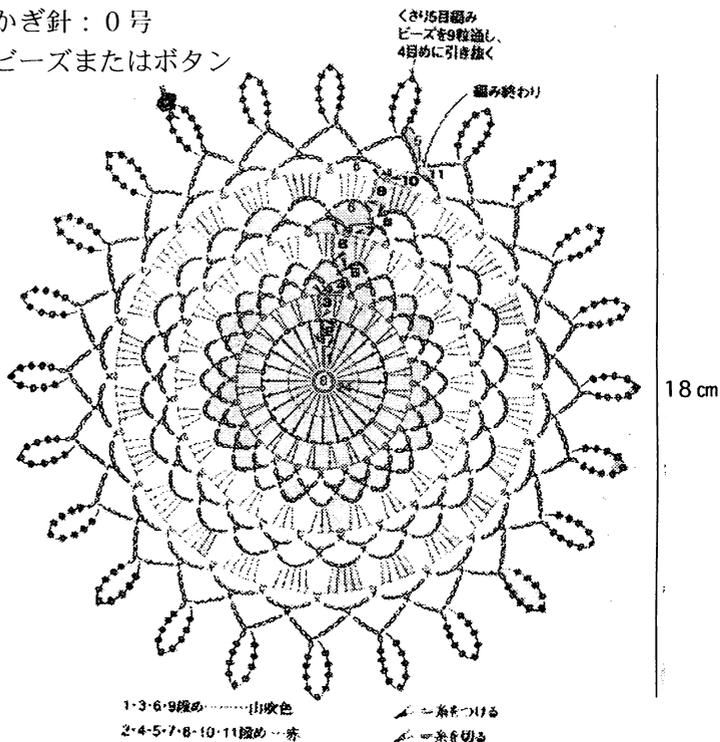
そこで、今回は「ジャグカ ②木綿の布

①かぎ針モチーフ

材料：綿糸 約20g  
(オリンパスエミーデランデ  
は各色あります)

かぎ針：0号  
ビーズまたはボタン

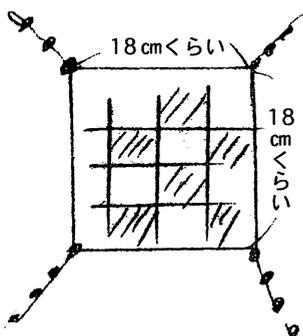
かわいいプリントのハンカチ  
か、ガーゼのハンカチ  
\*必ず周りにビーズかボタン  
を付けてください



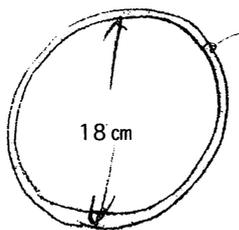
飲みかけのお茶、湯冷ましの  
カップなど、テーブルに居座っ  
ていませんか。

私がヘルパーとして、お伺い  
した先で、無造作に置かれてい  
るカップが、すごく気になりました。

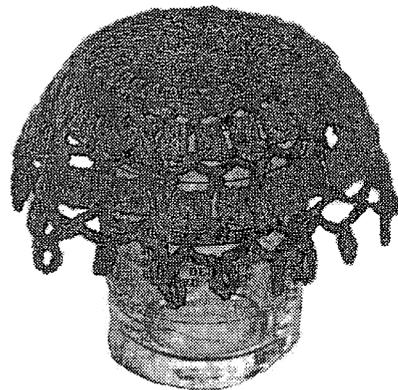
もうちょっとオシャレによ  
そおえないものだろうか・・・



周りにテープをしたり、  
ビーズを付けてください



\*カップの直径の2倍の大きさにする  
(ここに示した寸法はカップの直径が7～8cmを想定しています)



Yuimari

—問い合わせ先：手沙織工房☆池内沙織—  
〒567-0048茨木市北春日丘4-9-24井上が101  
TEL & FAX 072-627-8611 携帯 090-8129-9115  
E-mail:tesagurikobo@hcn.zaq.ne.jp

ゆい・まある (沖縄の方言)  
つながり・助け合い・お互いさま

## 感動のフライングディスク競技

的障害の関係なく、だれでもがいつしよに出  
来るスポーツです。

二つ目は、正確性を競う種目「アキュラシ  
ー」

私は、全国障害者スポーツ大会 第3回  
静岡（わかふじ大会）、第4回埼玉（まごこ  
ろ大会）にフライングディスク競技で、大阪  
府選手代表として参加しました。

現在、競技大会で行われている種目は「ア  
キュラシー」と「ディスクスタンス」の2種目で  
す。

アキュラシーゴール（内径91.5cmの輪）  
をめがけ10回投げて何回入ったかを競いま  
す。ゴールまでの距離は、ディスクリート・フ  
アイブ（5m）とディスクリート・セブン（7  
m）があり、このうちどちらか1種目を自分  
で選ぶことができます。

フライングディスク競技は、ディスク（直  
径23・5cm、重量100±5g）1枚さえ  
あれば、いつでも・どこでも・身体障害、知

一つは、飛ばす距離を競う「ディスクスタンス」  
男女別に、立って競技する人と、座って競  
技する人に分かれて、1グループ5〜6人で  
飛距離を競います。

学生時代、スポーツに縁がなく、フライン  
グディスクと出会って5年、初めて参加した  
静岡大会では、ディスクスタンスでは、25m飛ば  
して2位銀メダル。ディスクリート・セブンで  
は、ゴールに6枚入り、1位金メダルを取る  
ことが出来、涙と感動の大会でした。

第4回の成績はあまり良くなく、ディスクリ  
ート・セブンで、ゴールに3枚入り、3位銅  
メダルでした。

来年は、兵庫県で開催されます。私の住ん  
でいる堺市は、来年4月から政令指定都市に  
なり、大会も堺市だけの大会になり、選ばれ  
るのも難しくなって来るので、これからも練  
習に励んで出場出来るよう頑張っていきたい  
と思います。

## 韓国から

こんにちは、慶子さん。

とても寒くなりました。大阪もだいぶ寒いですが？長  
らく手紙を出すことが出来ず、申し訳ないです。その  
後も慶子さんやご家族のみなさんはお元気で過ごし  
でしたか。

私は最近、以前よりも忙しい日々を過ごしています。  
この9月下旬には、引っ越して来たアパートで住民た  
ちによって、アパートの住民自治会長になりました。これ  
まで願っていても出来なかったアパートの様々な事  
業を、責任をもって解決していくためには努力を要する  
ことも多く、疲れます。それでも、人のために奉仕す  
ることは貴重な経験であり、やり甲斐があります。

また一方では、時事漫画を熱心に描きながら、とき  
どき孤児院を訪問して、子供たちに漫画の描き方を教  
えています。

私の家族はみんな元気になっていますけれども、上の  
子供は今チョンバン\*で（家から300km離れた所）、軍  
の任務に服しています。

それでは、寒いのでお身体を大切に、楽しい時間を  
過ごされますようお願いながら、ここでペンをおきます。  
またお便りをさしあげます。

馬泰植

（訳＝出口美和）

\*「チョンバン」という地名なのか、軍の話が出てくるところか  
ら「前線の部隊」というときの「前線」の意味なのか、この文章だ  
けでは判断出来ません。（訳者注）



**SALOON**

**関西ニュース**

2月はどこのサロンの、どのテーマがお  
気に入りですか。いい出会いしませんか。

■「サロン淀川」2月の出会い

日 時：2月19日(日)午後1時30分～4時  
内 容：障害者として、教員を目指す-カナダでの事故から様々な出会いを大切に-  
ゲスト：松村 学(がく)氏(サポート=畠氏) 社会福祉法人ヒューマン福祉会  
会 費：なし  
場 所：淀川区民センター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3  
問い合わせ先：淀川区社協(ボランティア・ビューロー) ☎06-6394-2900  
E-mail: sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にしよど」2月の出会い

日 時：2月11日(土)午前11時～午後3時  
内 容：ふくふく福祉まつり  
当日は、バルーンアート・寄せ植え・折り紙・手作りおもちゃを一緒に作る時間を設けていますので、ぜひご参加を。  
参加費：無料(物により材料費が別途必要な場合があります)  
場 所：西淀川区民ホール  
問い合わせ先：西淀川区在宅サービスセンター  
☎06-6494-0635  
中本 ☎090-9864-9678

■「サロン「アイ」」2月の出会い

日 時：2月4日(土)午後1時30分～4時  
内 容：障害者思索の過去・現在・未来  
パネラー：檜 英弘(シン ヨンホン)氏 四天王寺国際仏教大学 大学院教授  
会 費：なし  
場 所：「おかちやま」2階ボランティアルーム  
大阪市生野区勝山北3-13-20  
問い合わせ先：生野区社協(ボランティア・ビューロー) ☎06-6712-3101

○お知らせ：サロン「アイ」だよりの音訳テープが  
出来ます。ご希望の方は、西浦まで。  
☎06-6757-8574

■《てくてく・すみよし》2月の出会い

日 時：2月12日(日)午前11時～12時30分  
内 容：新年会「アジアンディズ『飲茶放題』」  
場 所：あびこ店[住吉区苅田7-12-34プラザあびこ3F 地下鉄御堂筋線我孫子駅]北口  
上がってすぐ角、マクドナルド向かい  
会 費：1500円  
申し込み締切り：2月4日  
申し込み・問い合わせ先：  
山本篤江 ☎06-6692-8411  
携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」2月の出会い

日 時：2月5日(日)午後1時30分～4時  
内 容：イヌの小さなぬいぐるみ作りを、ジャズ演奏とともに-2006年の干支の戌のぬいぐるみをピッコロベースの生演奏を聞きながらという贅沢なシチュエーションで作ります-  
パネラー：吉住てるさん(イヌのぬいぐるみ担当) 伊藤修二さん(ピッコロベース担当)  
会 費：なし  
場 所：鶴見区民センター3階  
大阪市鶴見区横堤5-3-15  
問い合わせ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー) 田村 ☎06-6913-7070

■「サロン北」2月の出会い

日 時：2月28日(火)  
午後2時～3時30分(開場1時30分)  
内 容：TRY TRY さわってみよう  
いろいろな楽器にさわって音をだしてみよう。パソコンもさわってみよう。  
「じゃんけん大会」、勝利者にミニバイオリンプレゼント(おもちゃ)  
参加費：無料  
場 所：障害者福祉作業センター「たけのこ」  
大阪市北区本庄東2-6-11宝来堂ビル1階  
問い合わせ先：障害者福祉作業センター  
「たけのこ」内 ☎06-6372-8074

■「サロンいたみ」 ■「サロン・にし」2月の出会いはお休みです。

<サロン・あべの>VOL.235 発行：平成18(2006)年1月21日 定価¥100  
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子  
事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941  
印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
ホームページ：http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/ 「サロン あべの」でも検索できます